

## 今後に向けて ～今までも大切にしていたこと、これからも、大切にすること～

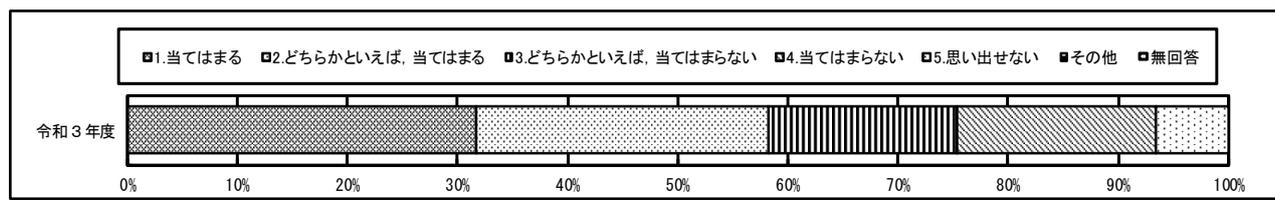
### 新型コロナウイルスの感染拡大の影響について

【児童・生徒質問紙番号（66）「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか」】、という質問に、小学校で33.2%、中学校で37.7%の児童・生徒が否定的な回答をしています。全国の割合もほぼ同じで、学校が休校になることで多くの児童・生徒の生活が乱れてしまう傾向があることがわかります。一斉休校となったことで、学校の果たす役割の大きさを改めて知ることとなりました。

また、【児童・生徒質問紙番号（64）「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか」】という質問に、小・中学校ともに半数を超える児童・生徒が不安を抱えたと回答しています。寒川町では休校期間中に学校からの課題配付や動画配信など、学びを止めないための積極的な取組を進めてきたところです。それでも、半数を超える児童・生徒が不安を感じていたことは事実です。子どもたちの規則正しい生活を支えるためにも、可能な限り休校措置とならないよう感染対策を十分に講じ、徹底してまいります。また、今後休校措置とせざるを得ない状況になるようなことがあれば、1人1台端末もうまく活用しながら、学習の不安を少しでも取り除けるよう取り組んでいく必要があります。

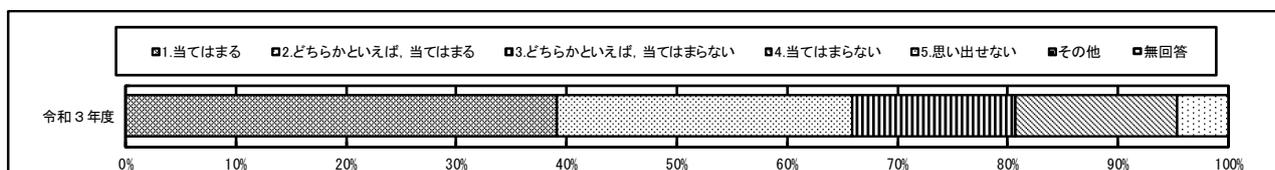
#### 【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項									
(64)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	当てはまる(1+2)		その他	無回答
令和3年度	31.8	26.6	17.1	18.1	6.5		58.4		0.0	0.0



#### 【中学校児童質問紙】

質問番号	質問事項									
(64)	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	当てはまる(1+2)		その他	無回答
令和3年度	39.2	26.8	14.7	14.7	4.6		66.0		0.0	0.0



## 家庭で育まれていること、これからも育てほしいこと

### ◇保護者の支えがあって、育まれてきたこと

ここ数年の経年変化のデータにより、家庭における基本的な生活習慣においては、保護者の家庭での協力によって、規則正しい生活を送っている児童・生徒が多い傾向が見られます。

また、放課後の学習時間の取り組みについても、計画的に学習している割合が増えていることが分かりました。児童・生徒のよりよい成長につなげるためには、家庭と地域の協力が必要となります。これまで、家庭で取り組んできた積み重ねが着実に成果として表れています。

### ◇家庭での会話で育てていきたいこと

児童・生徒質問紙調査から、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」では高い割合で守っているとの回答となっています。家庭においてもきまりを守ろうとする良好な関係性が築かれていることがわかります。一方で「一日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」については、小・中学校ともに3割を超える人が3時間以上と回答しており、全国よりも高い傾向が見られます。コロナ禍で家の中で過ごす時間が増えたことに加え、児童・生徒が1人で自由に使用できるスマートフォンやコンピュータ機器が増えていることなどの影響が考えられます。テレビゲームの時間が短いグループほど、教科調査の正答率が高いというデータもあることから課題であると捉えています。このことから家庭において多くの時間を児童・生徒が「個の時間」として過ごしていることが伺えます。平成31年度調査でも学校での出来事を家庭で話す児童・生徒が少ない傾向が見られました。

ここまで分析において「考える」ということを課題として挙げました。家庭において、話す機会を確保することによって、現在の子どもたち様子や状況について理解することができるとともに、「考えて、発信する」という場が必然的に生じます。家庭においても、話す機会と時間を確保して、児童・生徒にとっての思考力を伸ばしていくためにも、話す機会大切にしてほしいと思います。

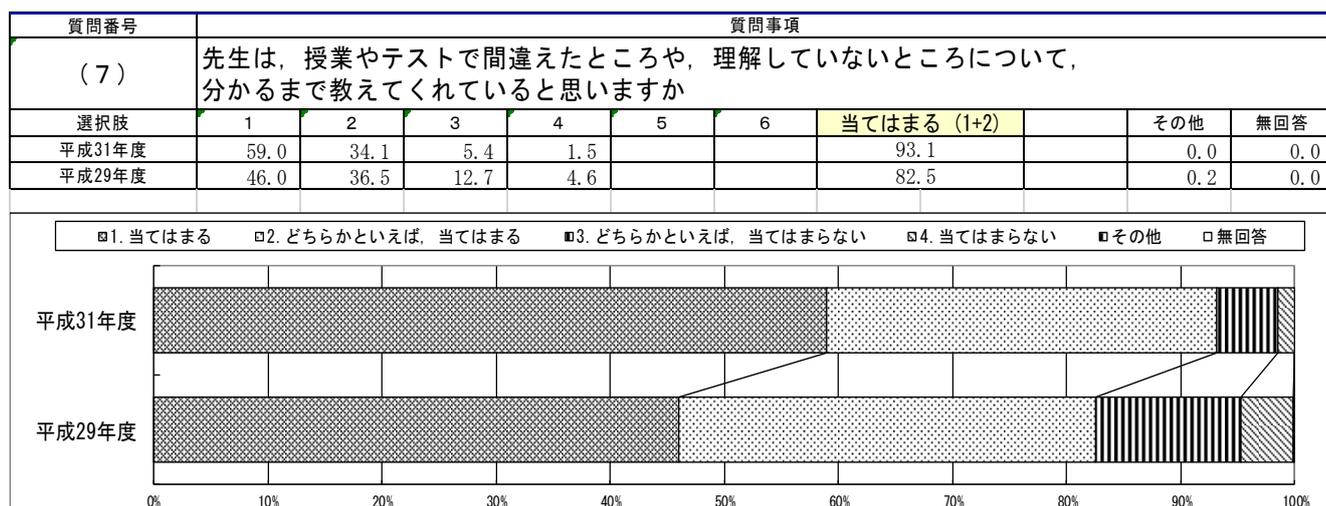
## 学校で育まれていること、これからも育んでいくこと

### ◇先生と児童・生徒との温かい関わりの中で、育まれていること

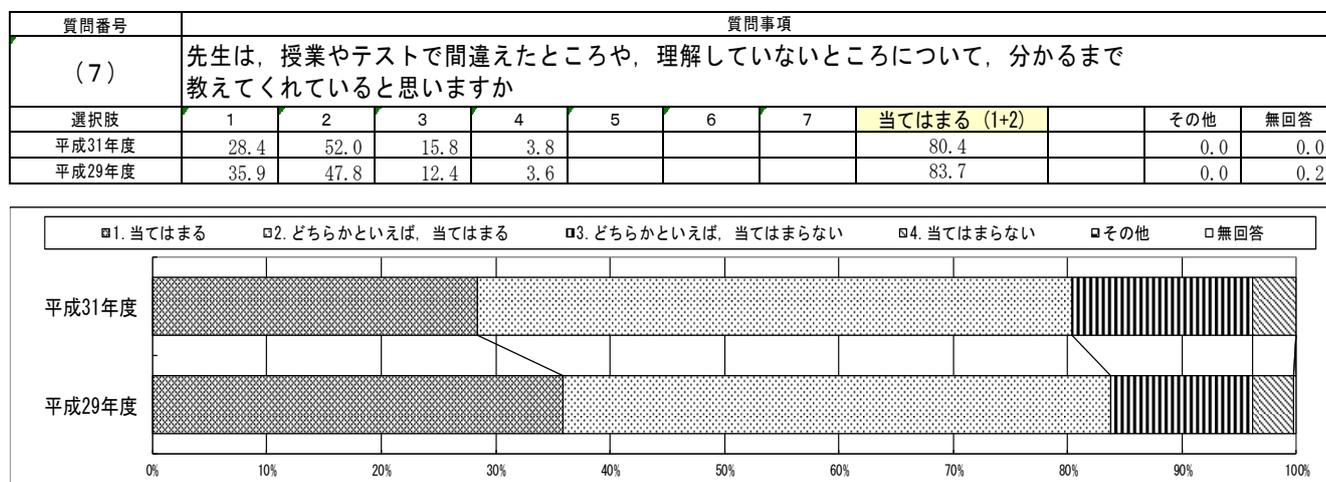
今年度は児童・生徒質問紙調査項目に含まれていませんでしたが、これまでの質問紙調査結果や日頃の小・中学校の様子から児童・生徒と先生の信頼関係の高さが見られます。これは寒川町の強みとして、今後も大切にしていきたいところです。

このような信頼関係が素地となって、学級・学校での文化が育まれていきます。教師は、学んだことに対して全ての児童・生徒が、「できる」「わかる」ようになってほしいとの思いをもって授業をします。その上で、児童・生徒に対して「できるようになるまで」、「わかるようになるまで」、しっかりと教えるという教師のあきらめない、粘り強い姿勢があります。間違えたところや、分からないところをそのままにせず、児童・生徒の実態に即しながら、できるようになるまで、個別で対応するなど支援・援助をすることで、学習の定着を図ろうと取り組む様子が伝わってきます。

### 【小学校児童質問紙】※平成31年度調査から

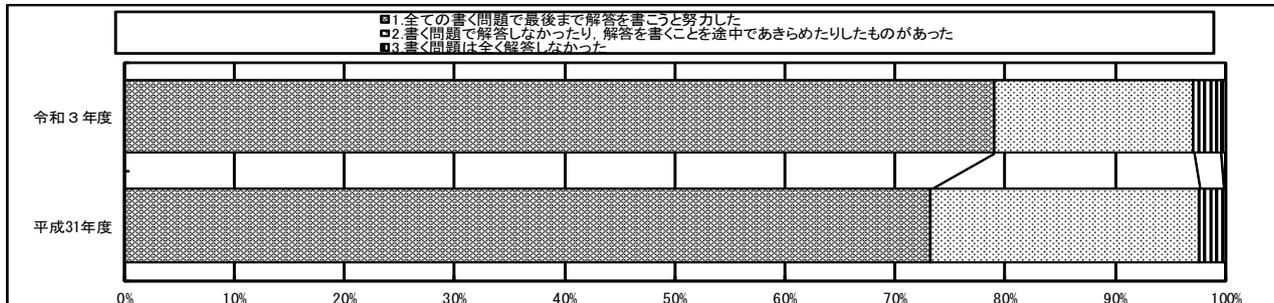


### 【中学校生徒質問紙】※平成31年度調査から

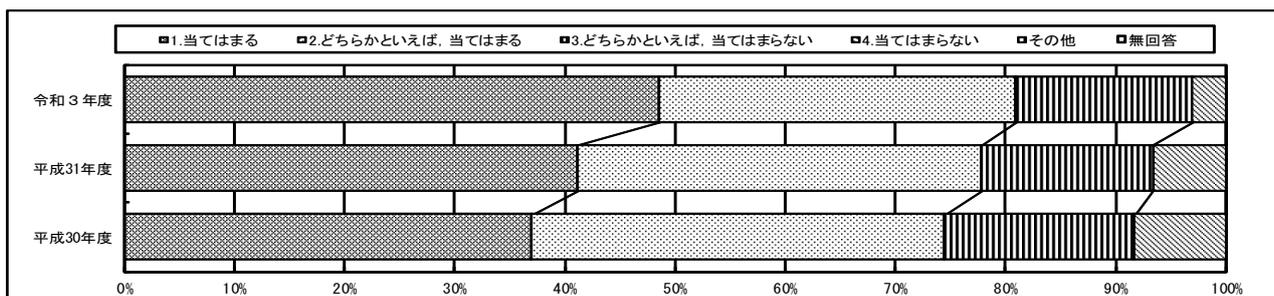


【小学校児童質問紙】

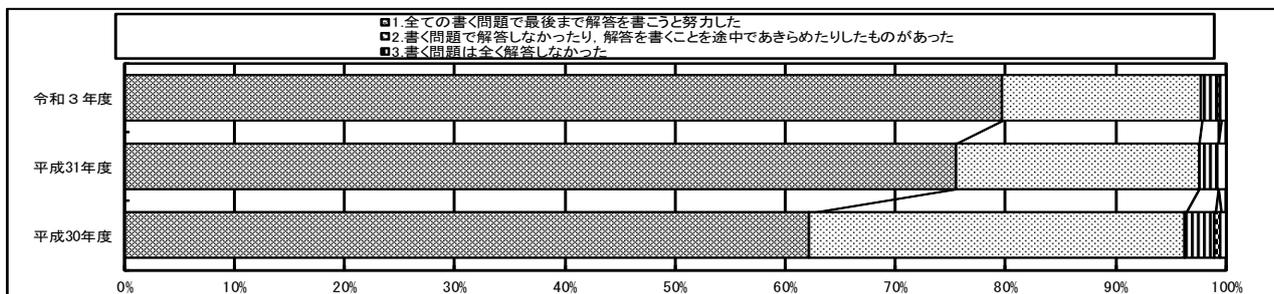
質問番号	質問事項									
(51)	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか									
選択肢	最後まで努力した	2	3	4	5	6			その他	無回答
令和3年度	78.9	18.1	2.5						0.2	0.2
平成31年度	73.2	24.4	2.2						0.2	0.0



質問番号	質問事項									
(57)	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	当てはまる(1+2)		その他	無回答
令和3年度	48.6	32.3	16.1	3.0			80.9		0.0	0.0
平成31年度	41.2	36.6	15.6	6.6			77.8		0.0	0.0
平成30年度	37.0	37.5	17.3	8.3			74.5		0.0	0.0

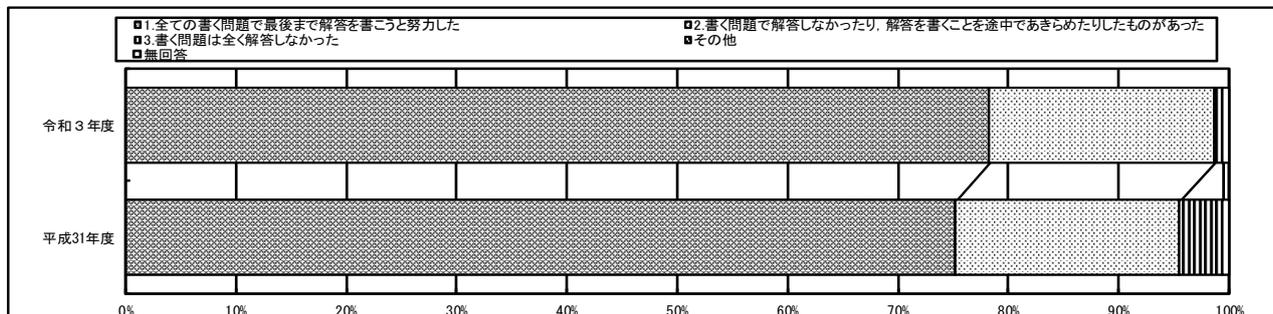


質問番号	質問事項									
(60)	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか									
選択肢	最後まで努力した	2	3	4	5	6			その他	無回答
令和3年度	79.7	18.1	1.5						0.2	0.5
平成31年度	75.6	22.0	1.7						0.0	0.7
平成30年度	62.3	34.1	2.7						0.5	0.5

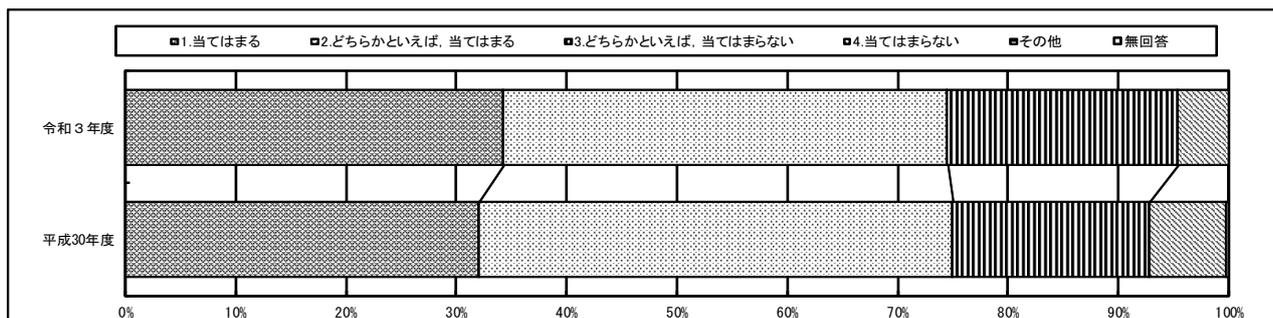


【中学校生徒質問紙】

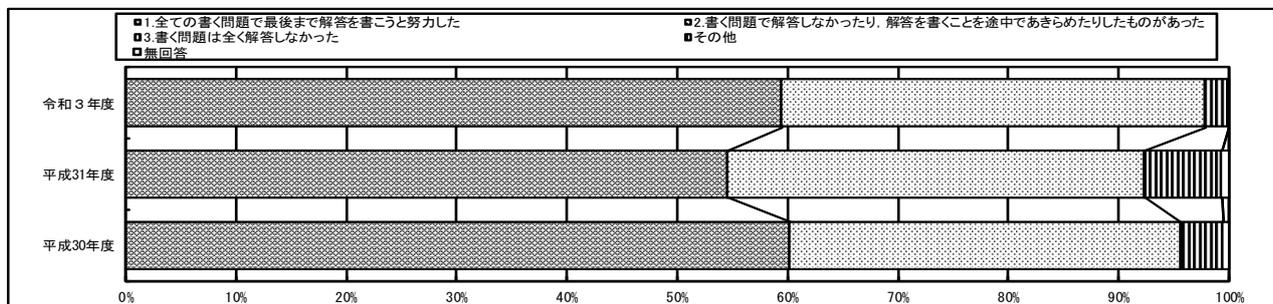
質問番号	質問事項									
(51)	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか									
選択肢	最後まで努力した	2	3	4	5	6			その他	無回答
令和3年度	78.4	20.4	0.8						0.0	0.5
平成31年度	75.2	20.3	4.0						0.0	0.5



質問番号	質問事項									
(57)	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	当てはまる(1+2)		その他	無回答
令和3年度	34.3	40.2	20.9	4.6			74.5		0.0	0.0
平成30年度	32.0	42.9	17.8	7.0			74.9		0.0	0.2



質問番号	質問事項									
(60)	今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか									
選択肢	最後まで努力した	2	3	4	5	6			その他	無回答
令和3年度	59.5	38.4	2.1						0.0	0.0
平成31年度	54.6	37.8	6.9						0.0	0.7
平成30年度	60.2	35.4	3.9						0.0	0.5



上記の【児童・生徒質問紙調査（51）（57）・（60）】から、児童・生徒が苦手としている問題においても何とか解こうと前向きに取り組む姿が見られます。これも日頃から児童・生徒に声をかけて励ましたり、分かりやすい説明となるように工夫したりする教師の陰ながらの努力があります。このような日々の積み重ねによって、あきらめないで取り組むという姿勢が育まれていくと考えられます。教師が児童・生徒一人ひとりに対して、丁寧に関わることで、学習に対する意欲がわき、児童・生徒もあきらめずに取り組もうとする粘り強さが育まれていくと考えられます。教師の姿が、まさに子どもの姿として表れています。今年度の各教科調査においても、前回調査までと比較し、無回答率が大幅に減り、粘り強く、諦めずに問題に取り組む姿勢が見られました。これは今年度調査の大きな特徴であり、成果であると考えます。

3つの育成すべき資質・能力における「学びに向かう力」が大切にしている側面に、粘り強さがあります。この「学びに向かう力」は、家庭と学校のしっかりとした生活の基盤があつてこそ、育まれていくものです。家庭における規則正しい生活習慣の確立と、教師が児童・生徒一人ひとりに対して、温かく丁寧に接することによって、物事に対してあきらめない前向きな姿勢を育成していくことができると考えられます。

#### ◇主体的・対話的で深い学びの授業改善を通して育まれたこと、これからも育んでいきたいこと

「主体的・対話的で深い学び」の授業改善においては、各校での継続的で熱心な取り組みが児童・生徒質問紙調査の結果に表れています。

寒川町では、校内研究において、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、研究に取り組んでいます。また、さむかわ学びっ子推進委員会において、各校の校内研究の様子や状況について、情報交換を通して、お互いの学校に持ち帰り、研究を深めています。町内全校で、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて研究に取り組むことができていることは、とても価値のあることです。教科調査の分析結果からは、各教科に共通して「理由を記述する」「思考すること」「説明すること」に課題があることが見えてきました。「思考力・判断力・表現力」を育んでいくためにも、「主体的・対話的で深い学び」の授業研究を深めていくことが大切です。

しかしながら、我々が求めていることは「主体的・対話的で深い学び」の授業改善が目的ではなく、寒川の子どもたちに育まれるべき、3つの資質・能力を育成することが目指すべきゴールとなります。「どんな子どもに育てていきたいか」を常日頃より意識し、よりよい授業づくりに向けて取り組む必要性があります。

今後も、校内研究や学びっ子育成推進事業を柱として、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取り組みをさらに推進して、子どもたちの資質・能力を育むとともに、教師の授業力を向上させていきたいと考えています。

## ◇「教室を離れても学び続ける子どもの姿を・・・」

今年度より質問紙に加わった新規項目【児童・生徒質問項目38「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」】について、この質問項目からは、授業で学んだことを、次の学習に生かすことができる。つまり学校での学びを実生活の場面で活用したり、他の教科と関連付けたりしながら、学習したことをつなげ、活用していく姿がイメージできます。

変化の予測が難しいこれからの時代を生き抜くために、子どもたちには、主体的、自律的にキャリアを切り拓いていく能力の獲得と向上が必要不可欠となります。これから先、学習したことをどのように活用するかが大事となってきます。学校では単に知識を獲得するのではなく、学んだことを活用したり考えを伝え合ったりする学習を充実させ「生きて働く知識」となるように努め、さらには「学びを教室という狭い空間」で完成させるのではなく、「教室を離れても学び続ける姿」を、意識しながら授業を創っていくことが必要であると考えます。家庭や地域では、子どもたちのがんばりを認め、温かいことばで伝えることで、安心して様々な物事にチャレンジできる環境づくりにご協力をお願いします。

## 【小学校児童質問紙】

質問番号	質問事項									
(38)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	当てはまる(1+2)		その他	無回答
令和3年度	21.8	47.4	26.6	4.2			69.2		0.0	0.0

## 【中学校生徒質問紙】

質問番号	質問事項									
(38)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	当てはまる(1+2)		その他	無回答
令和3年度	24.2	56.7	16.8	1.8			80.9		0.0	0.5

以上のように、児童・生徒の努力、保護者の支え、地域の協力、学校における授業改善の実現によって、寒川の子どもたちの資質・能力が少しずつですが着実に積み上げられてきていることがわかります。学校、地域、家庭が、子どもたちの未来のために、これからも同じ方向を向いて、一緒に手を取り合って取り組んでいきたいと思えます。

今後も、それぞれが適切な役割を果たしつつ、パートナーとして、未来の宝である「寒川の子どもたちのため」に連携、協力していくことが必要となります。